

患者の皆様へ

令和4年7月19日

呼吸器内科

現在、呼吸器内科では、「肺がん検体を用いた腫瘍免疫に関する解析」を行っています。

今後の治療に役立てることを目的に、2016年1月以降に当院で生検検査を受けて肺がんの診断を受けた患者さんを対象に、研究を実施しています。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名： 「肺がん検体を用いた腫瘍免疫に関する解析」
2. 研究の意義・目的： 現在、肺がんに対しては免疫チェックポイント阻害薬という薬剤による治療を行う場合があります。しかしながら、免疫チェックポイント阻害薬は全員に効果が出るわけではなく、十分な効果を得られない場合もあります。どのようなメカニズムがこの薬剤の効果を阻害しているのかは不明な点も多いのが現状です。本研究では、2016年1月以降で生検検査を受けて肺がん診断された患者さんを対象に、採取された検体を用いて解析を行い免疫チェックポイント阻害薬の効果を弱める因子の解明を目的としています。
3. 研究の対象者： 2016年1月1日以降、本研究参加施設にて生検を受け肺がんと診断された約150名を対象とします。研究期間は倫理委員会承認後～2026年12月31日までです。
4. 研究の方法： 2016年1月以降、当院を含む複数の研究施設にて生検を受け肺がんと診断された方の腫瘍組織検体を用いて、細胞エネルギー代謝因子、免疫応答因子の状態を評価します。また、使用する情報として、カルテから診療情報（年齢、性別、喫煙歴、画像検査結果{病変の位置、大きさ}、組織学的結果{診断結果、EGFR/ALK 遺伝子変異の有無}、治療歴）を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。
5. 個人情報の取り扱いについて： 本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学講座の鍵のかかる棚で保管します
6. 共同研究機関・研究責任者
岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 市原 英基
近畿大学病院 腫瘍内科 林秀敏
7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について：ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院

本件のお問合せ先：千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科

医師 鈴木 拓児 043(222)7171 内線 5474